

令和五年四月冠沓句

集句

35

句

貝塚 伊藤 香

うるはしき竹まいある両聖地
空高く響きわたれり愛善歌

細やかな気遣いできる人目指す
良き心良き世の中に変わりゆく

三島 谷内 いづみ

うるはしき日本に生まれ春を待つ
空高く車が飛ぶ日も近づきて

細やかな季節の移ろい今はなく
温暖化天気予報も変わりゆく

三島 山中 光代

空高く清くそびえる丹波富士

うるはしき春のひざしに祝詞読み

三島 山中 久夫

空高く希望の響き胸に秘め

うるはしき神に誓いし夫婦花
めおとばな

東大阪 枝廣 忠夫

AIの技術に世の中変わりゆく
世相受け人心共に変わりゆく

空高く黄砂に霞む富士の山

三島 矢野 義男

うるはしき心ひとつに道のため

細やかな心をもつが大本人

空高く登る心地や弥仙山

世の中も日如夜如ひごとよごとに変わりゆく

三島 神門 明子

うるはしき頂宮おそらに神座す弥仙山

細やかな心遣いに星三つ

空高く松枝にトビの一羽居り

桜散り新緑の候と早替り

枚方 小笹 順子

うるはしき言霊響く愛善歌
空高く天子の梯子降り注ぐ

細やかな気配り尽くし親孝行
世の中は良くも悪くも代わりゆく

三島 足立 正文

うるはしき新緑萌える弥仙山
細やかな心使いの観桜会

うるはしき木の花桜とお直会
空高く晴れ渡りたる弥仙山

三島 足立 しげ子

細やかな心つかいで人たすけ
日に日にと野山も目には変わりゆく

空高く夜空に小さく光る星

三島 神門 明子

天位 うるはしき頂宮おそらに神座す弥仙山